

輝く

## 地域の産業を 絶やしてはいけない

井戸栄造さん  
(天草町大江・40歳)



天草町大江の養豚業、〃合同会社ピッグス〃の代表を務める。

14年前にサラリーマンを辞めて父が行っていた養豚業を継ぐために天草に帰ってきた。

親豚約250頭を飼育し、1年に6、500頭の子豚を半年間育てた後、長崎県諫早市の精肉業者に食用豚として出荷している。

子どもを産む親豚は、体調管理が大切で、餌をやる量などは1頭ずつ違う。生き物を飼う仕事は、毎日世話をする必要があるので休日もない。従業員は、妻と兄、その他4人を雇用し、休みも交代で取るなど苦労をかけているので感謝している。

豚の感染症や臭い、廃水などの環境保全の対策にも力を入れている。井戸さんが代表となり、地元の養豚業を営む仲間とグループを作り、獣医師やワクチンメーカー、市や家畜保健所の担当者などに来てもらい定期的に勉強会を実施している。豚のふんなどは、大型の攪拌機でかき混ぜながら発酵させ、堆肥にして全て農家に提供している。

豚に対しては、「人間のつごうで産ませて、子豚は食用として売りに出すので、もっと愛情を注いで育ててやらないと」と常に心がけているという。

井戸さんが養豚を始めた14年前は20軒ほどの養豚農家があったが今は9軒になった。TPPなどの自由貿易で海外との競争になると地場の産業はますます厳しくなる。「地元の主要産業のひとつになっている養豚業を絶やすわけにはいけない」と思いを話してくれた。

# 「天草の崎津集落」 世界遺産登録への道

Road to World Heritage

## 第1回天草地域世界遺産登録推進連絡会議を開催！

〓天草市・上天草市・苓北町が連携し、世界遺産登録を目ざします！〓

### 連絡会議

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に名称を変更して「天草」の文字が明記されたことで、天草全域を世界アピールする絶好の機会となりました。

世界遺産登録を契機とした地域振興を進めるため2月17日、天草市民センターホールで天草市・上天草市・苓北町が連携した「第1回天草地域世界遺産登録推



〓会長(中村市長)あいさつ

進連絡会議」が開催され、観光、経済、教育、文化、まちづくり、社会奉仕団体など65団体、約650人が参加しました。

本会議の会長を中村天草市長、副会長を堀江上天草市長と田嶋苓北町長が務め、ユネスコに提出した世界遺産推薦書添付映像の放映や、「天草がつなぐ世界と未来」のスローガンが採択されました。

### 講演会

講演会では「世界遺産登録を目指す 天草のキリシタン文化遺産」と題して、くまもと文学・歴史館の服部英雄館長が講演。

服部館長は、「推薦を取り消して再度推薦書を作り

〓講演する服部館長



直すときに、世界の人がこの世界遺産候補を見て、何に魅力を感じるのかを考えた。200年以上の幕府の禁教期には宣教師がいない、教会も建てることのできない。そんななか弾圧にも屈せず、信仰を守ってきた人々の営み、禁教が解けたときに多くのキリシタンが復活を果たしたことの驚きが世界にアピールできると話されました。

### 連絡会議の会員募集中！

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を応援する天草地域世界遺産登録推進連絡会議の会員を募集しています。

会員には、情報発信への協力をお願いします。団体や企業はもちろん、グループやサークル、個人での登録も大歓迎です。特典として世界遺産オリジナルグッズを進呈します。

申し込みは、市ホームページに掲載の申込書をFAXしてください(電話での受け付けも可)。皆さんのご応募お待ちしております。

### ◆問い合わせ先

天草地域世界遺産登録推進連絡会議事務局(世界遺産推進室内) ☎⑦1116  
FAX ⑦1359

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室(河浦支所内) ☎⑦1116